

旧第3通学区「高校の将来像を考える地域の協議会」第3回会議録（要旨）

○座長の発言
●委員の方の発言
⇒ 県教委の回答

【県教委からの説明】

○新しい学びは肯定的な意見が多かった。高校を減らす議論はなかったが、今は学級減で対応。規模縮小の中での質の維持、学びの仕組みをどう提案するかという方向で進めたい。

●報道で、高校普通科が2年後に劇的に変わるとの話があった。再編に何か影響はあるのか。
⇒普通科の特色化の動き。県は「3つの方針」等特色化を進めている。その延長線上と考える。

○他通学区との関係を3通として議論しておきたい。多様な学びと学校規模による教育内容及び課外活動への影響も議論したい。

●北信だけ多部制・単位制がない。疑問に思う。北信にも多部制・単位制があることは必要なこと。

○個別支援や生活に合わせた教育を求める生徒に応える学び。そうした生徒はどこに行くのか。
⇒北信には多部制・単位制がないので定時制に行くことが多い。地域で少人数制教育等を行う。

○多部制・単位制高校設置で、定時制の吸収等、新しい形も考えられるのかもしれない。

●中学後の選択が狭くフリースクールや県外に行く子もいる。地域で学びたい場所がない。多部制・単位制の方向はよい。選択の幅を広げ、経済的格差に対応することを期待。長野西望月サテライト校のような学校外活動は必要。地域での多様な活動を学校で学んだことと同じ扱いにしてもらいたい。

○公立校では、多部制・単位制高校が地域に必要な受け皿となり、ニーズがありそうだ。

●多様な学びという点で、多部制・単位制は必要。通信制に関しては個別最適化の一方で、コミュニケーション力等心配もしている。若者の社会参加が大事。学校の様々な在り方が大切。

○昔の通信制ではなく、個別化された教育の一方で社会にしっかり参加できる教育を保障する。これは意見提案書に書きたい。通信制や多部制・単位制はアクセスしやすいことが特色。

●義務教育での課題は不登校。社会に出てからの窓口として多部制・単位制のような多様な学びが充実し、義務教育と連携した新たな形に変わればよいと思う。

○多部制・単位制に通信も含めた新しい学びは欲しい。PTAの立場からいかがか。

●ICT活用やオンライン授業が広がることで、学校の必要性に疑問をもつ。集団生活が大事。人

との関りが心配。

○「学校とは何か」という問いは必要。生徒相互の興味、そうでない子、両面への対応大事。

●流出入が多いことにとまなう問題は、何かあったのか。旧第4通の協議会に出ている知人が、第3通・第4通だけで考えてもだめだと言っていた。もし共有できるなら今後資料添付だけでもお願いしたい。

○そこまで踏まえて3通の教育を考えるべきか。全県的視野で県が検討すべき。情報共有は必要。
⇒旧第4通学区協議会で3通の情報を知りたいとの意見もあった。必要な情報共有はする予定。

●3通は多様性を吸収しきれていない。多様性に対応する多部制単位制・通信制を整備してほしい。通信制の生徒と経営者は学生のうちから連携できる。地元企業へ帰る期待もあり。魅力ある多部制単位制・通信制なら、他県の学生も集められる。魅力ある学校を作るべき。

●子どもの減少に最大の危機感。その一方で多様化。多様な子が社会にどう出ていくか。通信制は就職しない子など問題もある。コミュニケーション力を備えることが最も大事だと思う。

○今日は抑えておきたい部分が多かったので、それを盛り込んだ形で次回の協議に入りたい。